

大規模土砂災害対策技術センター シンポジウム

紀伊半島大水害から15年 ～ 紀伊半島から広がる砂防技術 ～

2011年9月の紀伊半島大水害から15年。

全国各地では今なお毎年多くの
土砂災害が発生しています。

本シンポジウムは、最新の調査研究・技術開発、
土砂災害に関する防災啓発の取組を紹介し、
土砂災害による被害の軽減・防止や
安全・安心な社会の実現について
考える機会として開催するものです。
ぜひご参加ください。

日 時

令和8年

8月23日(日)

13:00～15:30

(受付時間 12:30)

会場定員

300名 事前申込制・先着受付順
*WEB配信も行います

会 場

那智勝浦町体育文化会館

東牟婁郡那智勝浦町大字天満441-8

基 調 講 演

「古代より人々は紀伊半島に何を見てきたのか？」

ジオリブ研究所所長 神戸大学名誉教授

翼 好幸



パネルディスカッション

紀伊半島大水害からの大規模土砂災害への対応 ～ 研究・啓発の観点から ～



大規模土砂災害対策
研究機構 委員長

小杉 賢一朗

(京都大学大学院
農学研究科教授)



筑波大学
生命環境系教授

内田 太郎



大規模土砂災害対策
技術センター
副センター長

竹下 航

(国土交通省近畿地方整備局
紀伊山系砂防事務所長)



大規模土砂災害対策
技術センター

高原 晃宙

(国土技術政策総合研究所
土砂災害研究部 主任研究官)



和歌山県 県土整備部
河川下水道局
砂防課長

児玉 祥吾

〔主 催〕国土交通省 近畿地方整備局、和歌山県、那智勝浦町

〔協 力〕和歌山県砂防ボランティア協会

プログラム

開会挨拶

基調講演

「古代より人々は紀伊半島に何を見てきたのか？」

講演者 巽 好幸 (ジオリブ研究所所長 神戸大学名誉教授)

那智勝浦町小中学生防災学習の取組

発表 那智勝浦町立市野々小学校 児童のみなさん

パネルディスカッション

紀伊半島大水害からの大規模土砂災害への対応 ～ 研究・啓発の観点から ～

コーディネーター 大規模土砂災害対策研究機構 委員長 小杉 賢一朗 (京都大学大学院 農学研究科教授)

パネリスト 筑波大学 生命環境系教授 内田 太郎

大規模土砂災害対策技術センター 副センター長 竹下 航 (国土交通省近畿地方整備局 紀伊山系砂防事務所長)

大規模土砂災害対策技術センター 高原 晃宙 (国土技術政策総合研究所 土砂災害研究部 主任研究官)

和歌山県 県土整備部 河川下水道局 砂防課長 児玉 祥吾

閉会挨拶

終 了

※プログラムは内容・時間が変更となる可能性がありますので予めご了承ください

同時開催 パネル・防災学習模型展示

1 パネル展示

大規模土砂災害対策技術センターの紹介、調査・研究成果および活用している資機材・観測機器の紹介、過去の土砂災害資料、直轄砂防事業などのパネルを展示します。

2 防災学習模型等を用いた土砂災害学習

3 大学研究成果ポスター展示



防災学習模型

申込方法

ホームページより申込

参加希望の方は、下記アドレスまたは2次元コードよりお申込みください。

申込期限／8月14日(金) 17:00締め切り

<https://www.kkr.mlit.go.jp/kiisankei/event/symposium/2026/index.html>



- 本プログラムは一般社団法人土木施工管理技士会連合会のCPDS認定プログラムとして認定されております。取得単位数は2ユニットです。※WEB参加については、CPDS認定プログラム対象外です。
- CPDS認定希望者は本人確認を行いますので、必ず本人確認できる顔写真付きの証明書(運転免許証等)をご提示ください。
- 会場には手話通訳者および要約筆記者を配置します。
- WEB配信も実施予定です。WEB配信での参加をご希望の方は、上記アドレスまたは2次元コードよりお申し込みください。詳しくはWEB申込みされた方にメールでお知らせします。

お問合せ先

近畿地方整備局 紀伊山系砂防事務所 総務課

〒637-0002 奈良県五條市三在町1681 TEL. 0747-25-3111 (平日8:30～17:15)

アクセス

那智勝浦町体育文化会館

東牟婁郡那智勝浦町大字天満441-8



※当日はJR紀伊勝浦駅から会場まで無料送迎バスを運行いたします